

令和元年度 学校関係者評価報告書

大阪市内市岡東中学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価は概ね妥当である。
校内調査から、昨年度以上に子どもたちの前向きな姿勢が感じることができた。今後も引き続き、子どもたち一人ひとりにあった教育活動を推進してほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「学校の清掃が行き届いている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にする。
- 校内調査において、「学校をきれいに保つために積極的に清掃活動に参加している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にする。

全市共通目標

- 令和元年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にするについては 4 件中 4 件解消でき、解消した割合は 100%であり、達成できた。達成状況の評価は妥当である。
- 令和元年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にするについては、98.7%で達成できた。達成状況の評価は妥当である。
- 令和元年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させるについては、平成 29 年度 5 名、平成 30 年度 3 名、令和元年度 0 名で一部の生徒に課題はあるものの減少傾向にあり達成できた。達成状況の評価は妥当である。
- 令和元年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させるについては平成 30 年度 1 名から令和元年度 2 名と増加し、達成できず引き続き解消に向けて対応していくよう。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「学校の清掃が行き届いている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にするについては、87.7%で達成できた。達成状況の評価は妥当である。

○校内調査において、「学校をきれいに保つために積極的に清掃活動に参加している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にするについては、88.6%で達成できた。達成状況の評価は妥当である。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるシャトルラン、50m走、立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
3年生：5教科 101.4→102.6 (1.2 向上)、達成。3教科 96.2→95.2 (1.0 低下)、達成せず。
2年生：90.6→98.8 (8.2 向上)、達成。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
3年生：19.2→26.0 (6.8 増加) 達成せず。2年生：30.8→23.3 (7.5 減少) 達成。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
3年生：27.4→30.1 (2.7 増加) 達成。
2年生：16.7→27.4 (10.7 増加) 達成。
- 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させるについては、平成30年度 79.2%から令和元年度 83.8%へと増加し、達成できた。
- 令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるシャトルラン、50m走、立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させるについては、

男子

シャトルラン : 77.64→92.36 (14.72 回増)
50m走 : 7.94→8.02 (0.08 秒遅)
立ち幅とび : 186.22→178.96 (7.26 cm減)

女子

、52.06→56.22 (4.16 回増)
、8.58→8.47 (0.11 秒速)
、170.16→180.04 (9.88 cm増)

と男女6種目中4種目で記録が向上した。

学校園の年度目標

○校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にするについては、79.9%で達成できなかった。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 地域社会に貢献できる人間を育成してもらいたい。
- 更なる規範意識の定着をしてもらいたい。
- ホームページをはじめより多くの情報を発信し、学校・保護者・地域が協力し子どもの教育を考えることが大切である。
- 目の前の子どもをどう育てていくか引き続き一体となって考えていく。そのためにも、地域連携を視野に入れた学校運営を行ってもらいたい。